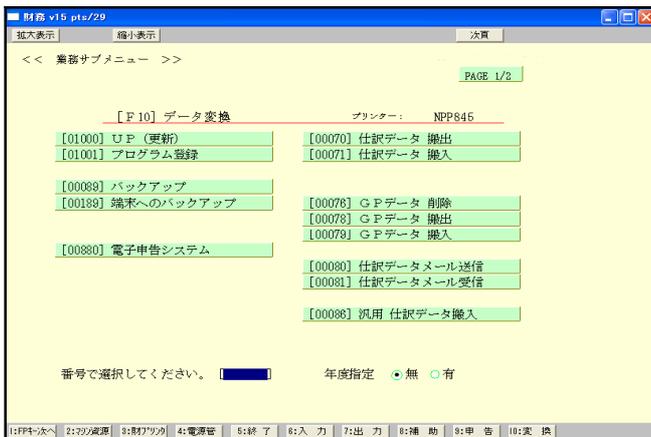


●概要

年度別に仕訳データおよびGPデータ(申告・個人データ)を端末(Windowsパソコン)へバックアップするプログラムです。内蔵もしくは外付けハードディスク以外にもバックアップを取ることが可能です。但し、CDやDVD等に対して直接指定することはできませんのでご注意ください。

端末バックアップで保存されるのはデータのみです。プログラム等は保存されません。必ず、機種ごとの終了手順に沿って通常のバックアップを実行して下さい。端末バックアップを併用してお取りいただくことで、データ消失を防ぐことができます。

バックアップされているところまでが、復旧の対象となります。



1. **F10** データ変換の画面を呼び出します。
2. **[189]** バックアップを選択します。
189 **Enter** を押します。



3. 左図の画面を表示します。

コピー先を確認します。
初期値は

端末 … c:/tac/lxbackup
単体 … e:/tac/lxbackup

となっています。

変更する場合は **F9** 先変更を押してコピー先を変更することができます。

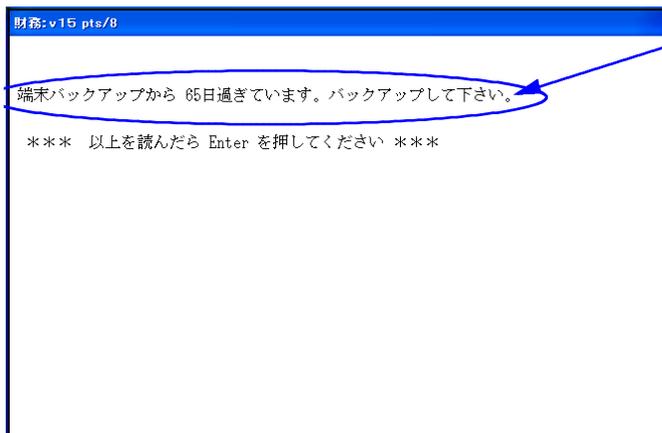


4. バックアップする年度の指定を選択します。
◎が表示されている年度が保存されます。

指定を変更する場合は、変更をしたい年度で **F7** マークを押して下さい。「-」に表示が変更されれば、その年度はバックアップされません。

5. **F3** 実行を押してバックアップを開始します。

● バックアップの経過メッセージについて



最後に[189]端末バックアップを実行してから10日以上経過すると、左図の「バックアップから、〇〇日過ぎています。バックアップして下さい。」と表示されます。

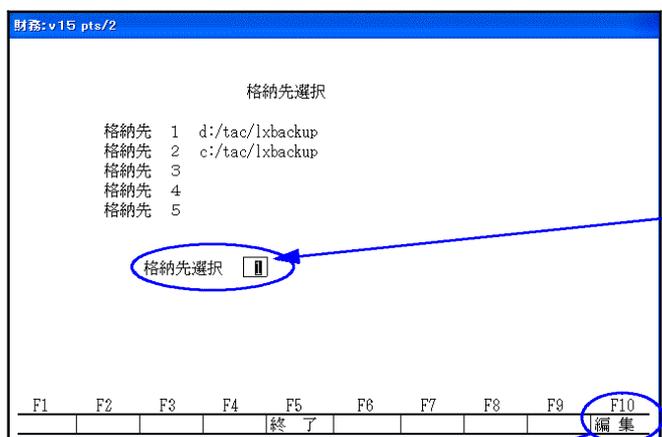
こちらのメッセージが表示されたら、[189]端末バックアップを実行して下さい。バックアップ後、経過メッセージは表示されなくなります。

● [F9:先変更]について

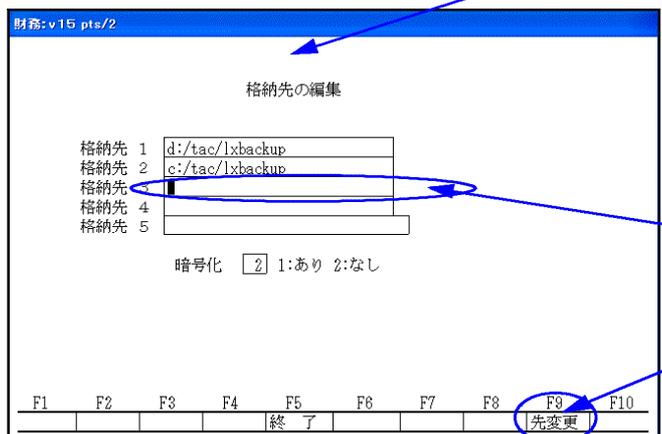


1. コピー先を変更する場合、[F9] 先変更を押して下さい。

2. 左図の画面が表示されます。



3. 格納先選択に、選択したい格納先の番号を入力し [Enter] を押します。



※ 格納先選択の画面で、格納先 1～5 に選択したい格納先がなかった場合

1. [F10] 編集を押します。

2. 空欄に、追加したい格納先を入力します。
ex) f:/tac/lxbackup

3. [F9] 先変更を押すと、格納先選択の画面に戻ります。格納先番号を入力して下さい。